

●取扱説明

このたびは、スチームグリルをお買いいただきましたことありがとうございます。
ご使用前にこの【取扱説明】をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
なお、お読みになったあとは大切に保管していただき、取扱いのわからないときや、不具合が生じたときにお役立てください。

●安全上の注意

絵表示について



警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

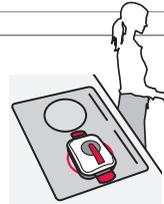


⊘記号は禁止行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容が表示されています。



警告：火災の原因になります

- 加熱中はスチームグリルのそばから離れないでください。
- 空だきや長時間の予熱はしないでください。
- 電子レンジ、ストーブ、オーブンでの使用はしないでください。



注意

- 製品各部に亀裂、破損、変形、ハンドルのガタツキなどの異常が無いか、安全を確認してから使用し、異常がある場合は使用しないでください。また、製品の異常に対し、改造や応急処置などの手当てをして使用することは絶対にしないでください。製品の異常に対し、改造や応急処置などの手当てをして使用することは絶対にしないでください。製品の異常に対し、改造や応急処置などの手当てをして使用することは絶対にしないでください。
- ガスコンロ使用時、炎が底面からはみ出さないように火力を中火以下に調整してください。また、隣接する加熱器具の炎や熱がハンドルにあたらないように向きを調節してください。ハンドルが焦げて、脱落や、やけどの原因になります。
- 加熱器具の中央部に置き、安定させてご使用ください。製品が転倒し、やけどの原因になります。
- 使用によりハンドルのねじがゆるむ事があります。必ずねじを締めなおしてご使用ください。脱落し、ケガや火傷の原因になります。
- ハンドル部分が熱くなることがありますのでご注意ください。

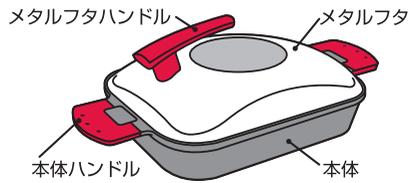


スチームグリルは極厚プレート構造のため蓄熱性に優れており、長方形形状でも全体に熱を伝わりやすくしています。そのため下記の点にご注意ください。

- 調理中は、本体・フタが熱くなっていますので、触れないようにしてください。特に乳幼児は遠ざけ、手を触れさせないでください。やけどの原因になります。
- 人工大理石などの熱に弱い面に本製品が熱いまま直接置かないでください。
- 【蒸し＋焼き】の調理で、油の多い食材を使う場合は、溝に溜まった油を拭き取ってから水を入れて下さい。油はねなどによるやけどの原因になります。
- 水を入れる場合はやけどにご注意ください。
- 製品は冷めにくくなっていますのでご使用後も取扱いにご注意ください。



●各部の名称



メタルカバー

右記の熱源に対応します
(100V、200V対応)



電磁調理器

ガス

電気プレート

ハロゲンヒーター
シーズセーター

- 海外製IHクッキングヒーターでは使用できない機種もございます。

●ご使用前に

- 必ず最初に使用する時は、食器用洗剤をつけて、柔らかいスポンジなどで十分に洗い、乾いた布などで水気を拭き取って、乾燥させてからご使用ください。
- ご使用になる加熱器具の取扱説明書を良くお読みの上、正しくお使いください。加熱器具の機種によっては長時間の調理をすると安全装置が働き、消火することがあります。

●取扱上の注意

- 調理器具等を使用する場合は木製や樹脂製のものをご使用ください。
- 急激な衝撃を与えたり冷水をかける等の急激な温度変化を与えないでください。変形やヒビ割れの原因になります。
- 製品の縁まで水等を満たした状態では使用しないでください。
- 製品の上で包丁など鋭利な刃物で食材を切らないでください。製品にキズがつくことがあります。
- 製品の中に料理を長時間保存しないでください。
- 中火以下でご使用ください。
- 製品に異常を感じた場合は速やかにご使用を止めてください。

●お手入れ・保管について

- ご使用後は製品がよく冷めてから洗浄してください。
- ご使用後は食器用洗剤をつけたスポンジなどでよく洗い、水気を拭き取って乾燥させてください。塩分や酸・アルカリなどを含んだ汚れを付着させたまま放置したり、湿気の多い場所での保管は錆の原因になります。
- 水に浸して洗わないでください。ハンドルの中に水がたまり樹脂の早期劣化やネジの腐食の原因になります。
- 金属タワシ・みがき粉・ナイフ等、ふっ素塗装やガラス部を傷つけるものは使用しないでください。
- 食器洗い乾燥機はご使用できません。(図a)



図 a

●ガラスに関する注意事項

- ガラス部に固いものをぶつけるなどの急激な衝撃を与えないでください。
- ガラス部が破損すると破片が細片となって激しく飛散しますので注意して下さい。
- 火のそばに置いたり、本体からずらして加熱調理しないでください。
- 熱いうちに冷水をかけるなどの急激な温度変化を与えないでください。
- 金属たわしやみがき粉など、ガラスを傷つけるものを使用しないでください。割れることがあります。